

平成29年3月

# 三種町 議会定例会

平成29年3月三種町議会定例会が、3月7日から17日の会期で開催されました。

平成29年度三種町一般会計予算（案）など議案等42件を審議し、原案どおり可決されました。

開会初日に町長が施政方針と行政報告を行いましたので、その主な趣旨と審議された主な議案についてお伝えします。



## 施政方針

これからの行政運営では「人口減少社会」への対応があらゆる分野にわたって求められることになり、今後とも持続可能な行政運営に努めます。

また、町政を推進し、組織の機能を高めていくために、「三種町人材育成基本方針」に基づき、時代の変化や状況の変化に応じて創造性に富む柔軟な人材を育てるため、研修をより充実させるとともに、人材育成型の人事評価制度の運用に取り組みで参ります。

## 財政運営方針について

平成29年度の当初予算編成に当たっては既存事業の見直しによる選択と集中を図り、新規・拡充事業等の財源の確保を基本とし、メリハリのある予算編成を行いました。

当初予算については、人口減少対策への対応を含め、本町の諸情勢を念頭に置きながら住民生活に密着した事業を中心に、①住民生活環境施設の整備②雇用対策推進事業の継続③地域特性を活かした産業振興対策④暮らしの安心確保として位置づけ、地域活性化の推進及び住民の安全・安心な暮らしの実現に向け取り組みます。

## 第2次三種町総合計画について

「第1次三種町総合計画」を継承し、三種町の将来像の実現に向け取り組むべき施策の方向を示し、積極的に事業の推進を図るとともに、誰もが安全・安心で豊かに暮らすことができるまちづくりを推進するための指針となるものです。「三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「人口減少に対応した政策」や「能代山本定住自立圏共生ビジョン」における「広域が共同して取り組む政策」などと本計画を相互に関連させながら、統一的に展開していくことにより、効率的に成果を上げることができると期待しています。

## クアオルト事業について

平成29年6月頃には、日本クアオルト研究所より「釜谷浜サンセットコース」が「クアの道」として認定される運びで、「琴丘クアの古道コース」と「森岳温泉石倉山コース」と合わせて、それぞれ特徴のある3コースが完成する予定です。

クアオルト事業の推進には、食生活からの健康づくりも重要であり、昨年、一年間をかけてクアオルト健康食メニューの開発を実施しました。町内の3事業者から参加いただき、この度、ようやく完



クアオルト 食の開発

成の運びとなりました。適度な運動、健康食、温泉入浴のセットで心身のリフレッシュを図れることが、一つの観光資源にもなりうるものと考えます。

## 移住定住関係について

東京都内に、毎月1回定期的に、三種町交流イベントが開催できる拠点を設けました。

移住セミナーの開催や三種町の安全安心な農産物の販売、ふるさと納税や観光イベントのPRなどを行うとともに、三種町出身者や三種町に関心のある首都圏在住者が交流することで、双方が利益となる関係を築けるものと期待しています。